



map

ビューラ研究室 213023 江濱陽莉

目次

1. 研究テーマ
2. タイトル「map」と手法について
3. 3つのステップ
4. 大きな絵を描くためのシステム
5. 録音した音、新聞紙ドローイング、
6メートルの大きな絵の一覧
6. 展示について

1. 研究テーマ

感覚的な絵日記を制作し
人生の全てを肯定する



2. タイトル「map」と手法について

動機

私は、自分の決断に自信がなくなった時、行ったり来たりを繰り返している気がしてしまう。しかし、それも人生を探究する道のりだと考えたら、すべてを肯定することができるのではないかと思う。

この先の人生で不安や悩みを完全に消すことはできないかもしれないが、また不安や悩みが訪れるそのたびに、もっと人生を自由に単純に楽しめるということを思い出すことは可能なはずである。

これまでの歩みを振り返り、それを確かめることでこの先へ進む勇気をくれるものを私にとっての「map」にしたい。この研究では、行ったり来たりもすべて肯定する、自分だけの地図を制作することを目的としている。

ドローイングでの表現

この制作では、主にドローイングを用いた。ドローイングは、今の私にとって最も身近で、馴染む表現手法である。2年生の頃から制作手法として取り入れており、ドローイングという手法は私にとって、より直感的にアイデアを視覚化できるだけでなく、描く過程で自分の内面や思考を整理し、新たな発見や気づきに出会える手段になっている。

使用する画材について

今回のドローイングでは、主にアクリルガッシュを使用している。

アクリルガッシュを選んだ理由としては、自分の思った通りの色を作りやすいことと、もし間違えて描いてしまっても上から描き直すことができるというプレッシャーの少なさからである。

アクリルガッシュ以外にも、コンテやパステル、ペンなどを使用している。使用する理由はそのいずれも、気軽に扱える画材であるためである。

3.3つのステップ

視覚的な記録だけではなく、空気感を作品に取り入れる。

そのために、3つのステップで記憶の断片をつなぎ、思い出を再解釈する。

1. 日常の音の録音

2. 録音や記憶を活かしたドローイング

3. 大きな絵

1) 日常の音の録音 × 30

自分の体験をリアルに記録するために、一人でも誰かと一緒でも、時間や場所を問わず、気が向いた時にその時の音を気軽に録音する。



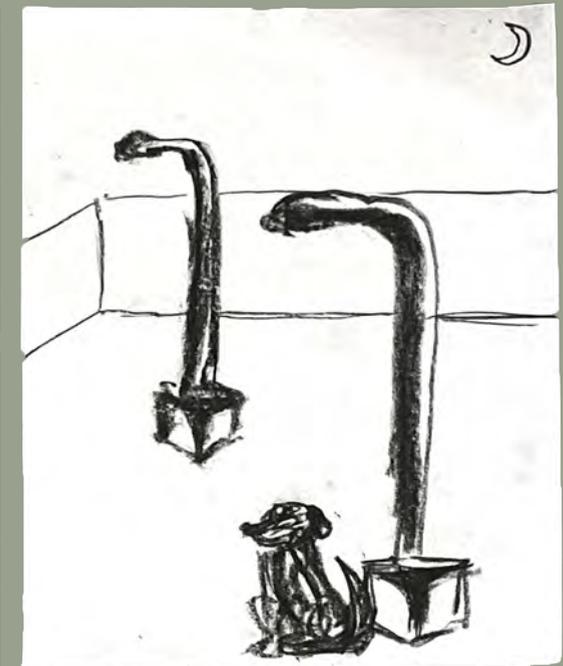
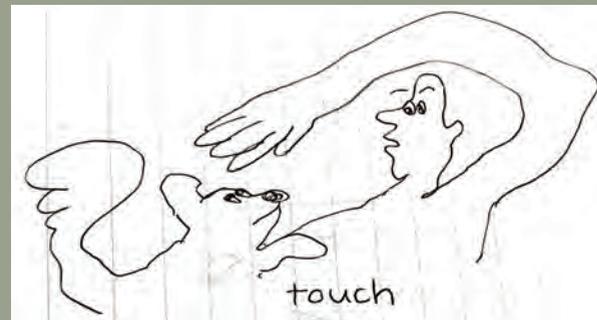
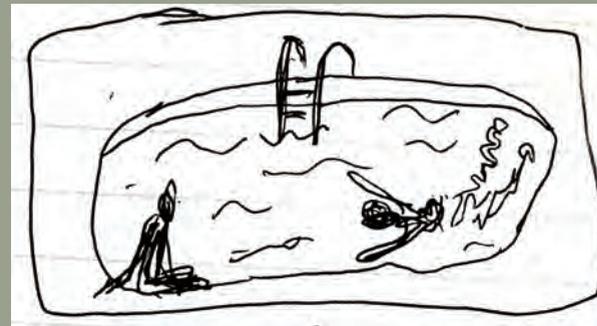
2) 録音や記憶を活かしたドローイング × 約80

録音や記憶を直感的なドローイングで表現し、当時の感情や思考を掘り下げる。



抽象的なドローイング

1つの録音した音をきいて、そこから浮かんだ形を1枚の新聞紙の上に描く。これを全部で30枚描く。



少し具象的なドローイング

過去を振り返り浮かんだ場面、そこから連想されたイメージなどを描き、のちに描く6メートルのドローイングのイメージの手がかりにする。これを全部で50枚ほど描く。

展示では、一つ一つの新聞紙を膨らみを持たせて壁に貼り付け、その新聞紙と壁の間の膨らんだ空間にスピーカーとプレイヤーを入れる。

それぞれのスピーカーからひとつずつ、録音された音が再生される。



3) 大きな絵 × 12

1.1メートル × 6メートルのトレーシングペーパー 12枚に大きな絵を描く。体験に対する自分なりの答えや、体験を集約して現れるテーマを描く。



4. 大きな絵を描くためのシステム

大きな絵を描くにあたり、ネタ切れや案出しへのストレスを減らすために、自分なりの思考システムを使い、12枚中の10枚を描いた。

①



新聞紙ドローイングでは、それぞれ録音した音のイメージに合う色を使う。

②



全て並べてみて、色合いを基準にし3枚1組に分ける

③



↓ 裏面



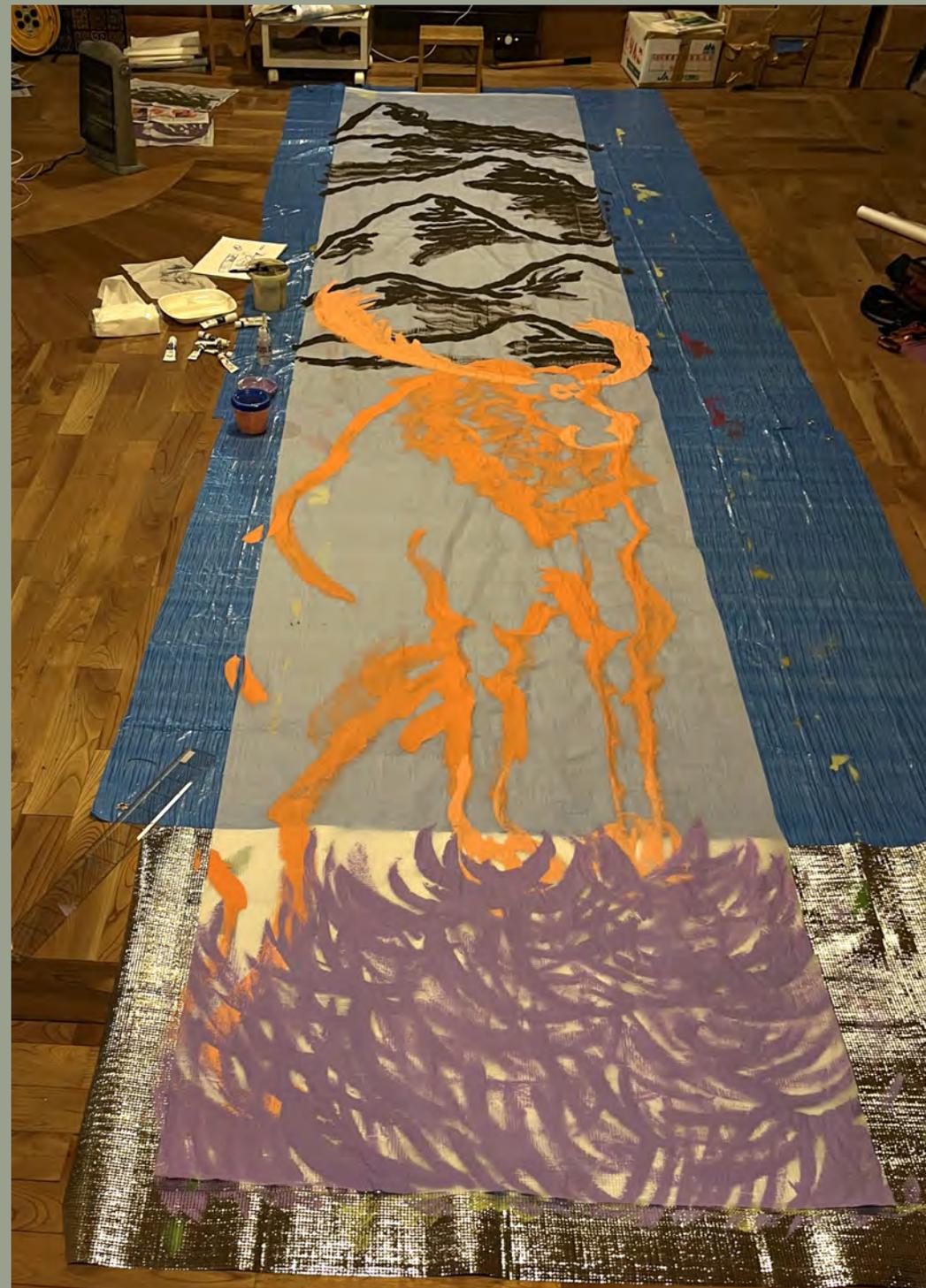
分けた3つの新聞紙ドロ잉の裏のタイトルメモを見て、元になった3つの録音は何をした時のものかを確認する。

④



録音当時の3つの経験から浮かぶイメージのスケッチをする。

⑤



④のスケッチで描くモチーフを決定したら、3枚1組の新聞紙と同じ3色を使って6メートルのトレイシングペーパーに描く。

大きな絵12枚のうち10枚はこのシステムで描き、11、12枚目は、題材やテーマなどない状態でその時に浮かぶ絵を描く。この11枚目と12枚目が自身の中では、この作品群の総集編のような絵になった。

今回の制作では、これまでの人生の中で一番の大きな絵を描いた。この大きな絵を描くためには、何を描くのかじっくり考えたり、細かく描き込んだりするのではなく、勢いに任せ、自分を信じて筆を動かすことが必要だった。

今振り返るとその制作プロセス自体が、より自由に手を動かし単純に描くことを楽しめた要因なのかもしれない。

この「自由に単純に楽しむ」というキーワードは、今回の研究の動機と重なるところがあり、研究で大切にしていたテーマである。そのテーマを鑑賞者に向けて表現するだけでなく、制作しながら自身の中でも、さらに深く感じることができた。



5. 録音した音、新聞紙ドロ잉、大きな絵の一覧





バイト帰りの雨

https://drive.google.com/file/d/1AdKRiuZaEMHpeI0HvVBqNid2Nz2cQjl/view?usp=drive_link

浅草の雨

https://drive.google.com/file/d/1CjlddI5frzCgsVm1cr05dBSOR_gc4t1/view?usp=drive_link



土手にいた鳥

https://drive.google.com/file/d/1tvlv2yg7kmHrI9su0-tFXf4g_wiC2RVZ/view?usp=drive_link



「きつねの嫁入り」



台湾のファミマ

https://drive.google.com/file/d/1KwoWXxrLho-8nVXnmPdreoOlgK7cqbkq/view?usp=drive_link



スターホテルで課題

https://drive.google.com/file/d/1arXnf3sPaUKNs17bBBJVSjmKXNt2984y/view?usp=drive_link



「メタセコイア」



寺泊の水族館

https://drive.google.com/file/d/1B_OxWluBJ3bj19BDzQfbj9gVdkAM3hZG/view?usp=drive_link



中越高校

https://drive.google.com/file/d/1v4IAQQR3up1XpUqj832VP5n9lt0ggMp0/view?usp=drive_link



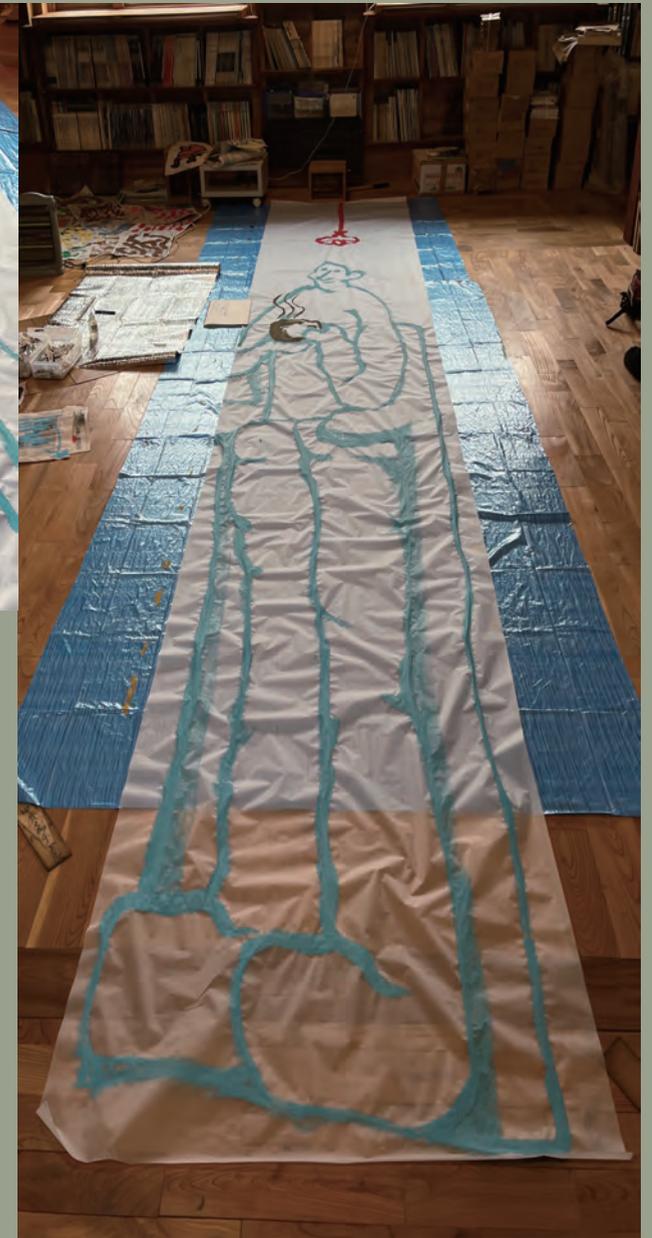
巣を見つけた

https://drive.google.com/file/d/1Ck0IdKp1zDmIaRWy5jZz64hSV3knTQUf/view?usp=drive_link



東京で台湾ロス

https://drive.google.com/file/d/1xD-FTcD7jxCOHB9aKBCnVdXfY6Kbb5Lj/view?usp=drive_link



「木曜日」



波

https://drive.google.com/file/d/1uPc9LGpdfbbswNP4P_FpeOyBcKQOP-41/view?usp=drive_link



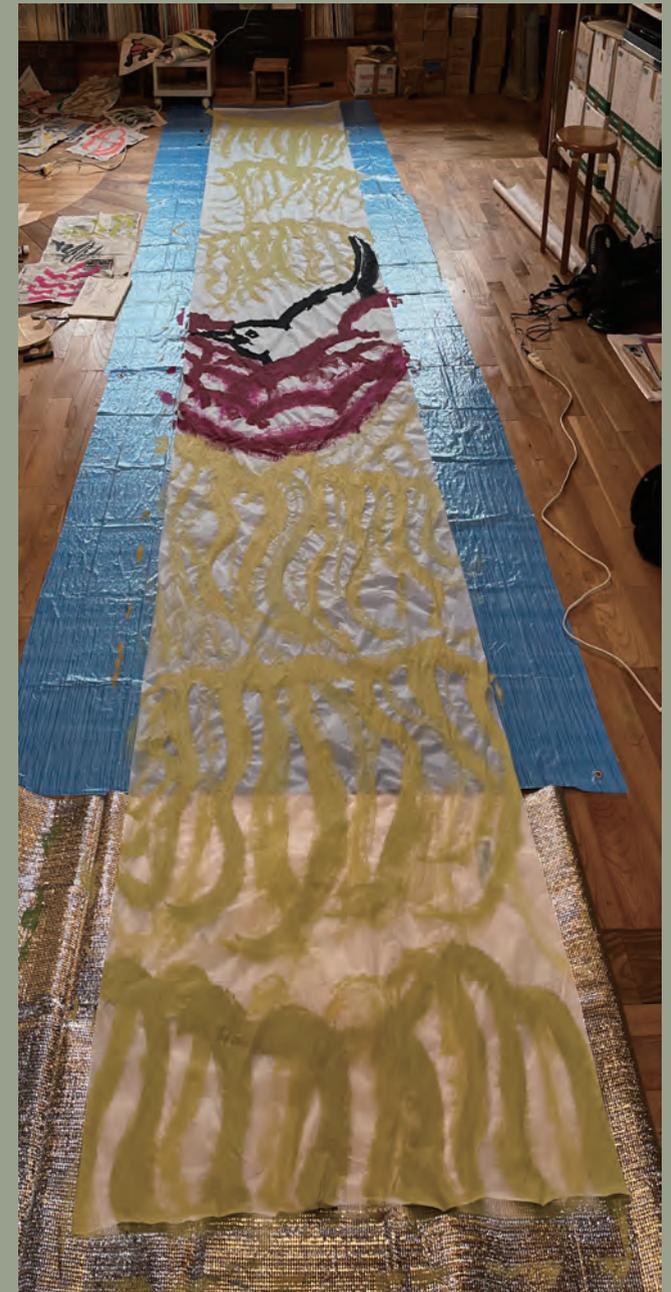
佐渡の夜空

https://drive.google.com/file/d/1kw8u83hg2fR5niuNcPZq7DQbOuA_3970/view?usp=drive_link



学校へ向かう

https://drive.google.com/file/d/1TWmtjhXPIC_Y2XfDZkXbFqmklGK2OVfT/view?usp=drive_link



「飛ぶ気持ち」

通りすがりの町内祭り

https://drive.google.com/file/d/1HJcVOHsgGQmkvJTnNcqLvovoFkV4c1vk/view?usp=drive_link



星が綺麗

https://drive.google.com/file/d/1zNVb-Qwlp_JyNs263KZF26JkP24wllW3/view?usp=drive_link



謝謝臺北

https://drive.google.com/file/d/1yt8JhkGrApKPPJefwmaAF57aXWj4jgqD/view?usp=drive_link



「地球」

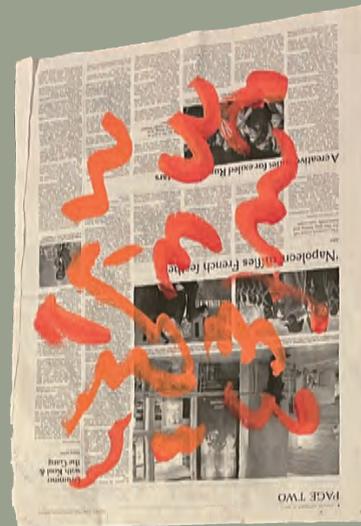
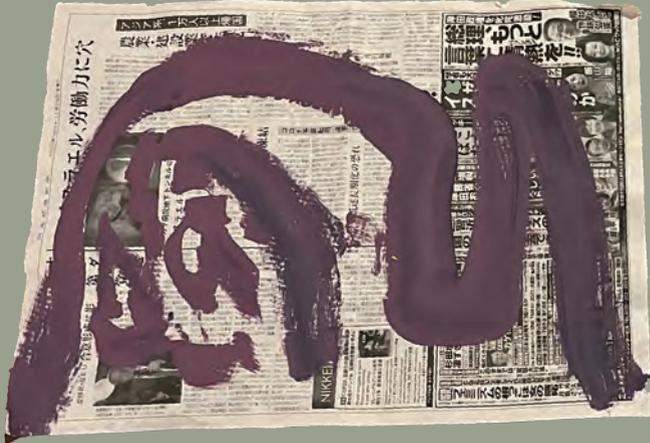
大晦日の夜

https://drive.google.com/file/d/1SiTsRMgNiENTpsz2GatMM8gp9KfY--HO/view?usp=drive_link



ケーブルチュールチョコレート探し

https://drive.google.com/file/d/11KndhCcX9zOBNIIEC7-em8XptkSbhOn/view?usp=drive_link



まねきねこ 408 号室

https://drive.google.com/file/d/156gqTb7BzYPyQ1LWgdKfbuaVomhH_565/view?usp=drive_link



「柔らかい足元」



束の間の帰省

https://drive.google.com/file/d/1G4RQ12iTWfkiOE_Pjhw50yFiEXd03hai/view?usp=drive_link



久しぶりの電話

https://drive.google.com/file/d/1ZT82uNmewlKk5ZqMEEAtwGHwz00Cduv2/view?usp=drive_link



ふうわが長岡に来た

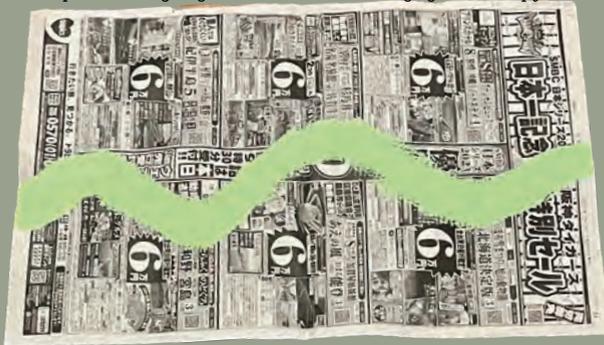
https://drive.google.com/file/d/1RZu-jYaZuTRYH3gu8fsQ2y1Vqp69Ubs9/view?usp=drive_link



「景色」

台湾最後の夜のいびき

https://drive.google.com/file/d/1xSs_mg3gG7hldDSpyS-hx2M0AOITC-Q-/view?usp=drive_link



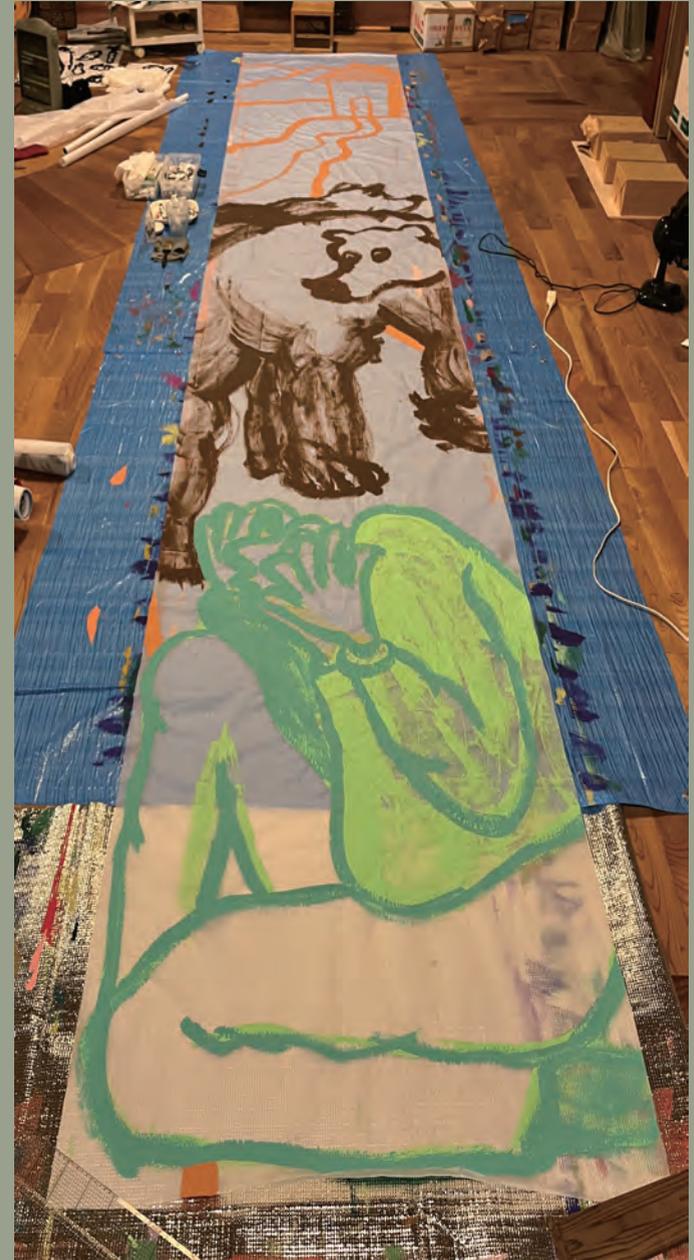
外は大嵐

https://drive.google.com/file/d/1GoWaRzY64xOyaK-hV19uMcKX3edxSTfG/view?usp=drive_link



クロスカントリースキー

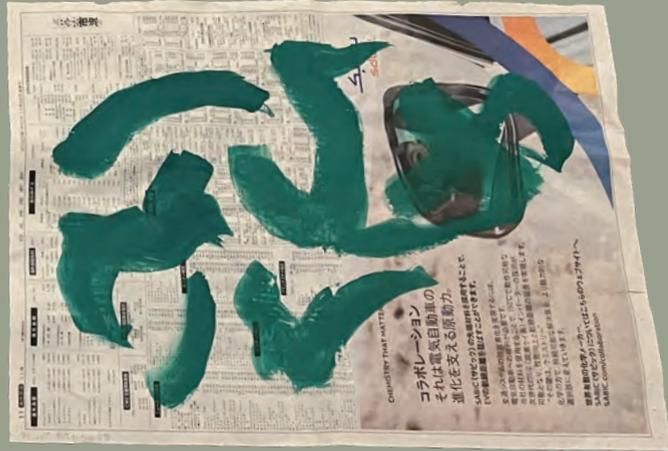
https://drive.google.com/file/d/1JRBwvrXmQEjcyMlyPeROBkyrjIuKSah/view?usp=drive_link



「帰路」

佐世保のせみ

https://drive.google.com/file/d/liwknQexFuftgH1PehGAixNvNuaAiB2zm/view?usp=drive_link



海でミワちゃんの撮影

https://drive.google.com/file/d/1PABeUJpA7ok4cEf3hmJOBOLH_HdpvdvY/view?usp=drive_link



バイバイ台北

https://drive.google.com/file/d/1TcphZAIgJpNOGiRZKIH8KG4vF_3ZzpVW/view?usp=drive_link



「冬を救う木」

1 日目の花火

https://drive.google.com/file/d/1pzytZiYQyQmrfXNSFeRwTDjoNurMWcAL/view?usp=drive_link



2 日目の花火

https://drive.google.com/file/d/1nHz-4ohHvvBTOOd_Gxd5sJEvHlQ4674e/view?usp=drive_link



大学にいた鳥

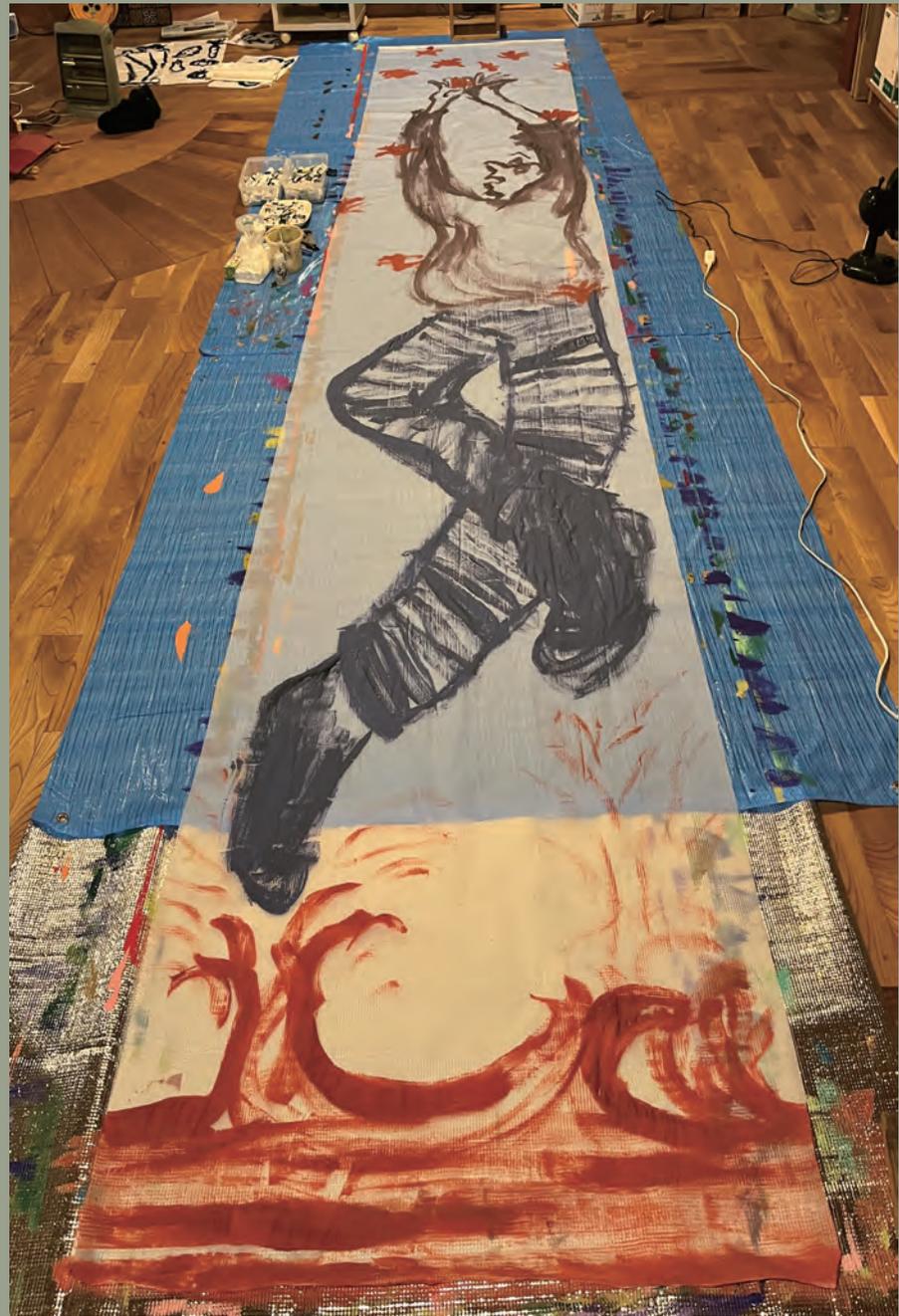
https://drive.google.com/file/d/10Jgw4Hc1kDv2DUV46UcYN104_TLfuyWH/view?usp=drive_link



「湖」

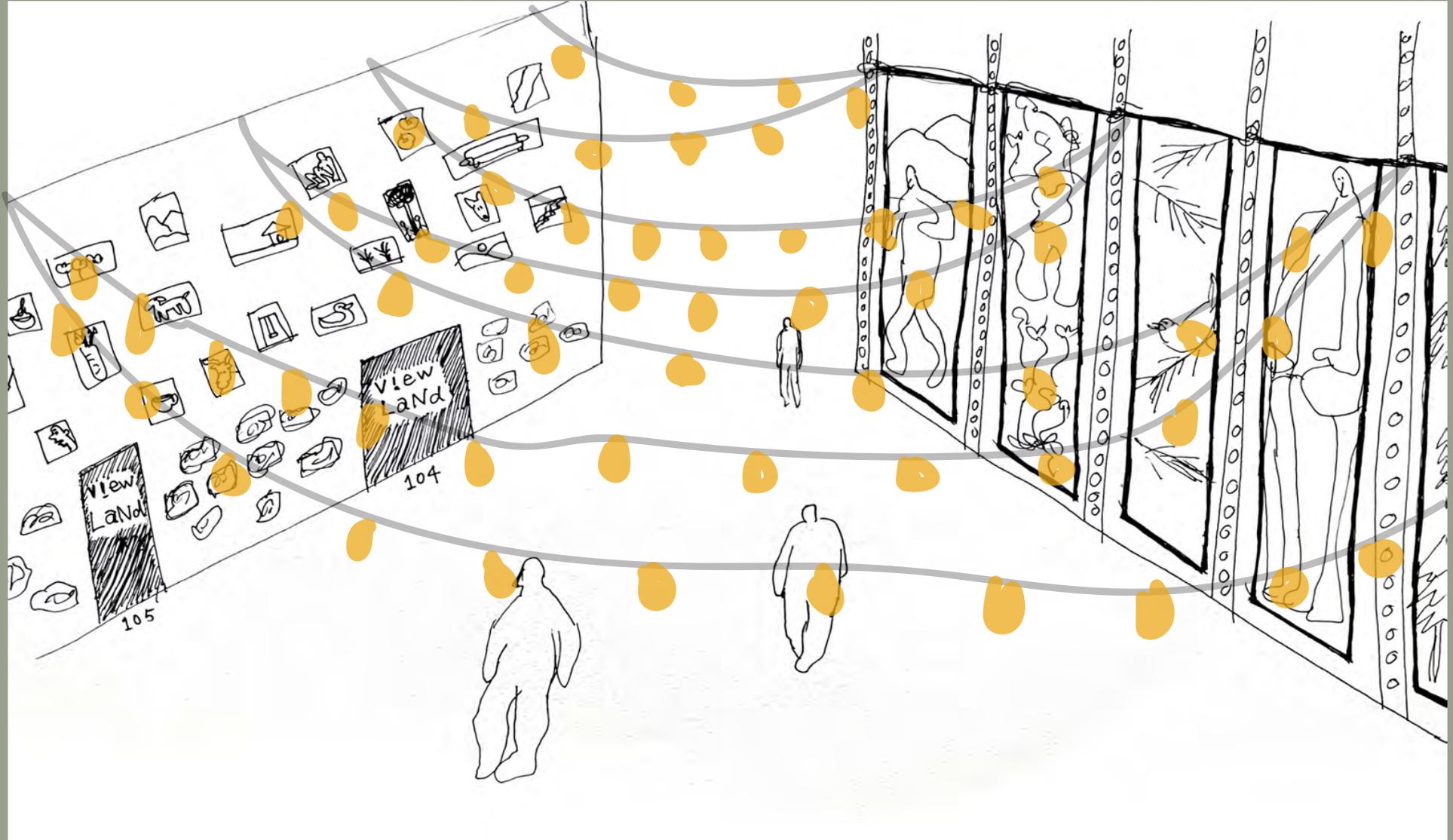


「友達」



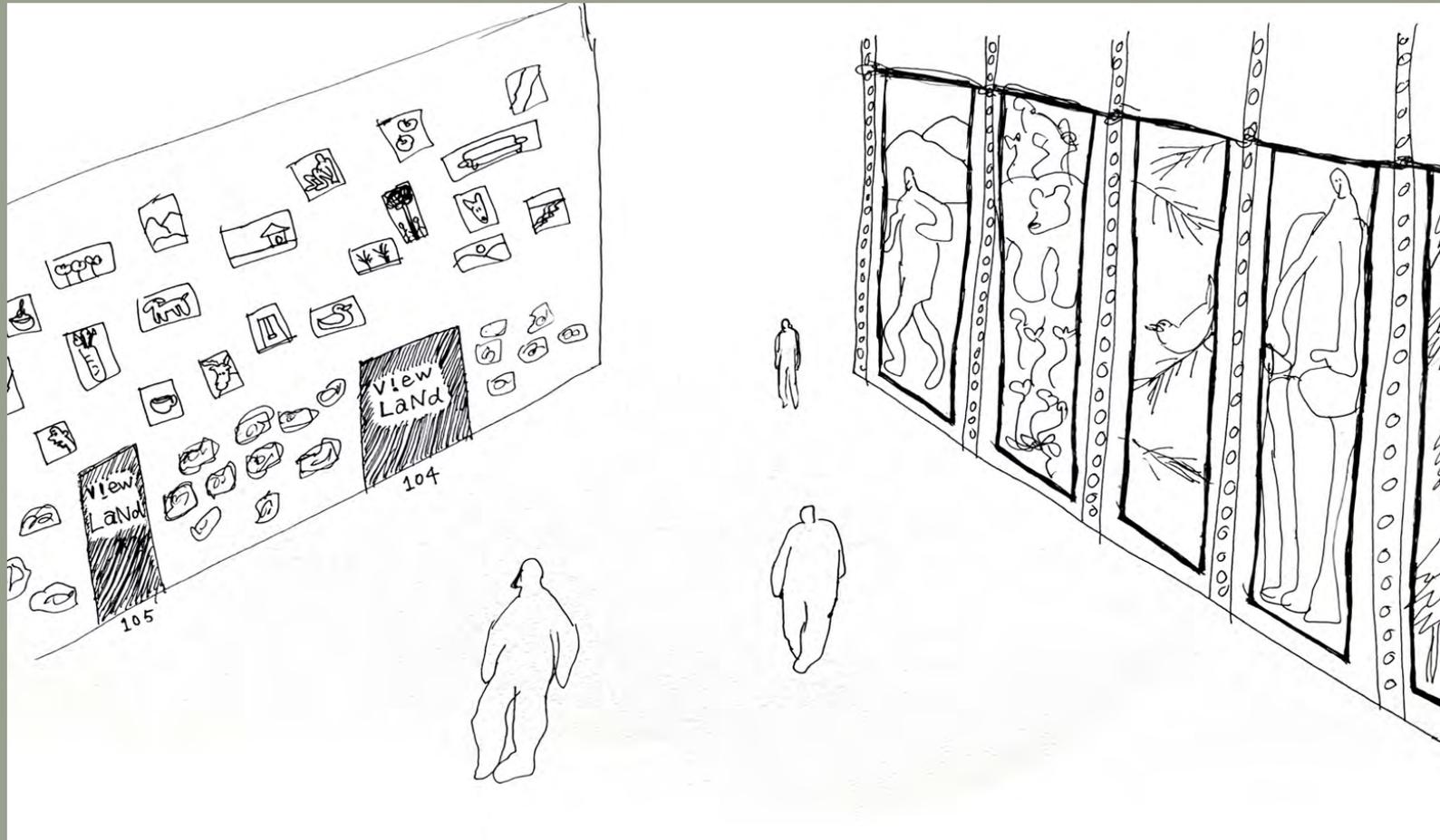
「積極性」

5. 展示について



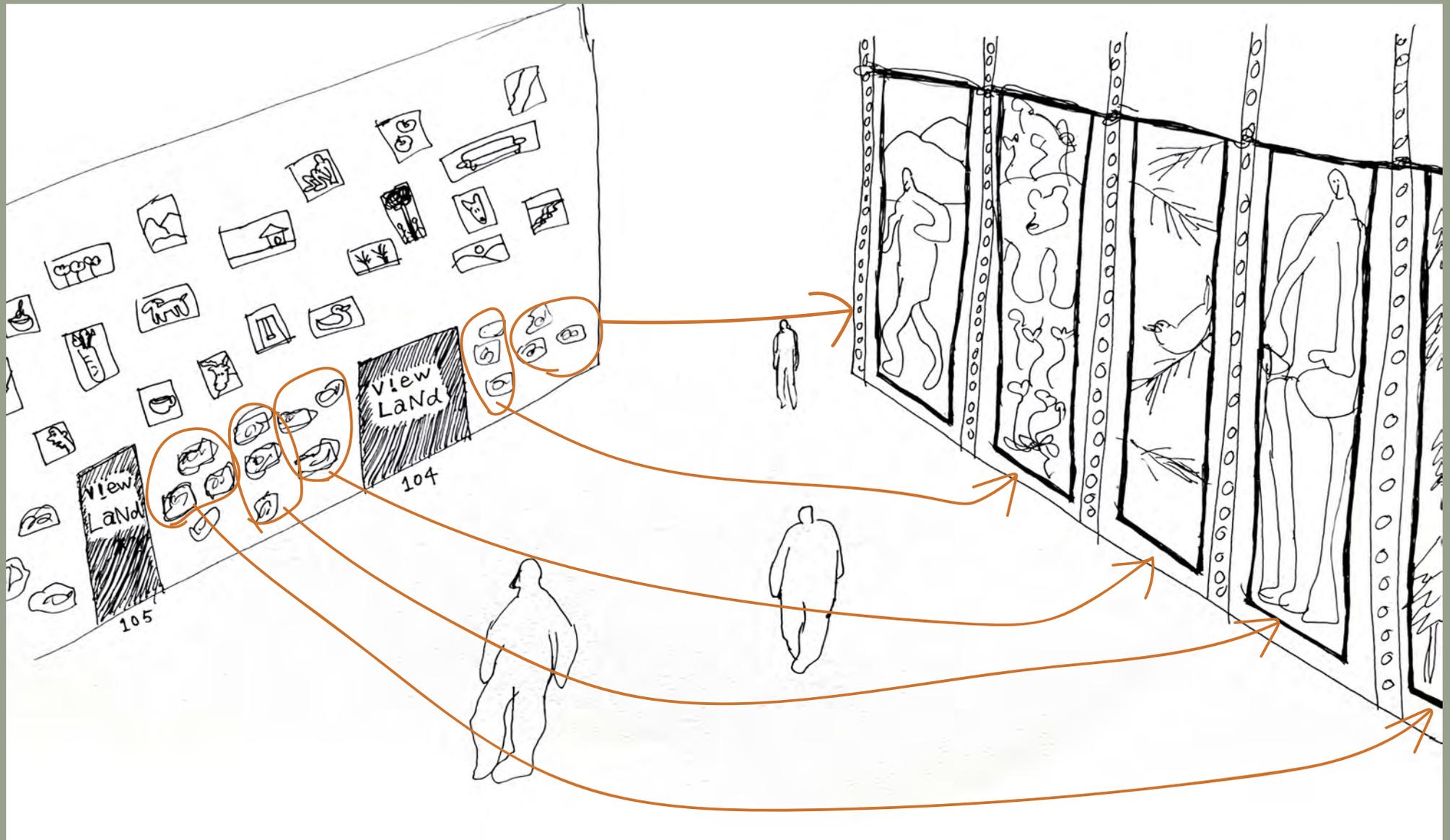
少し具象的な
ドローイング

新聞紙
ドローイング

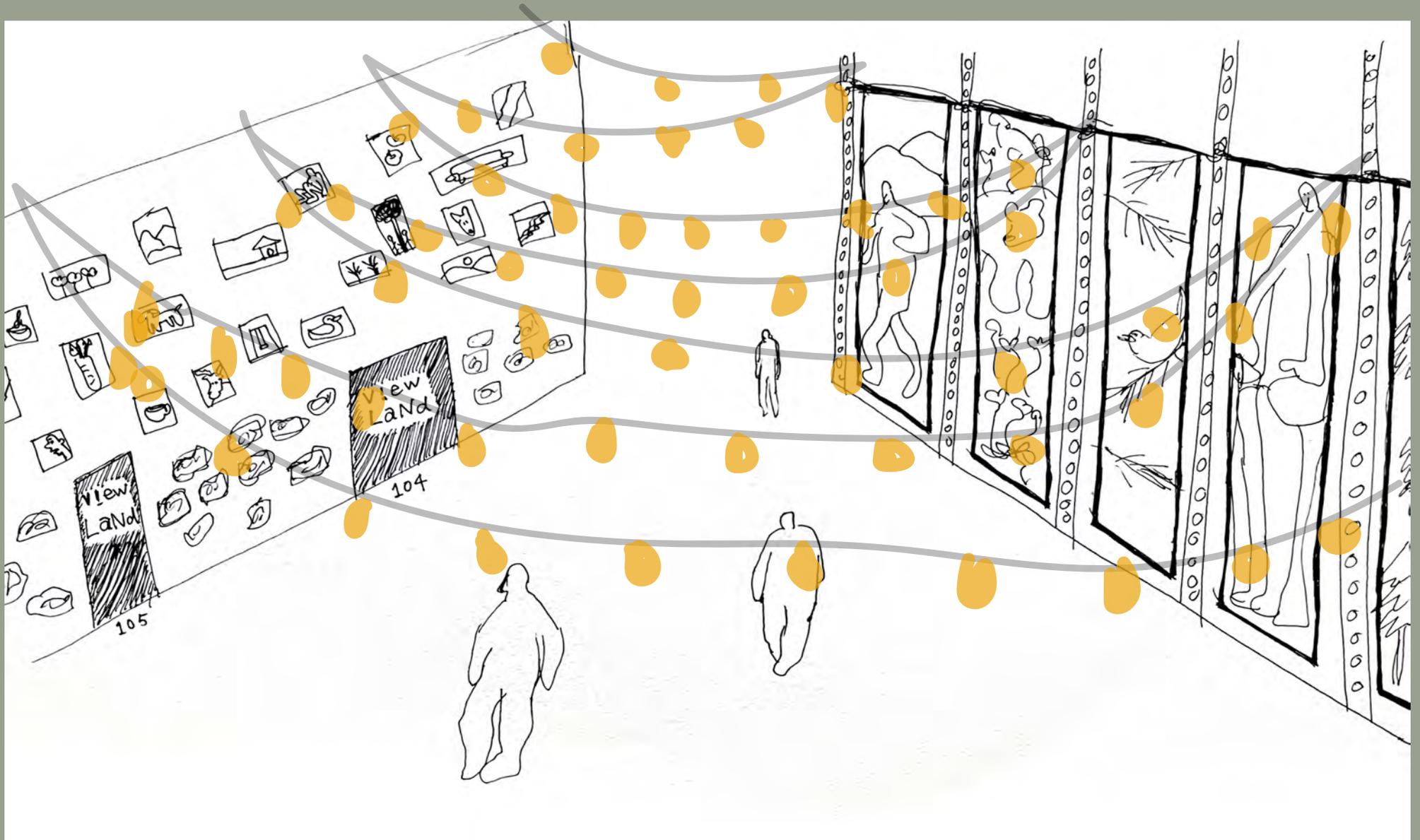


大きな絵

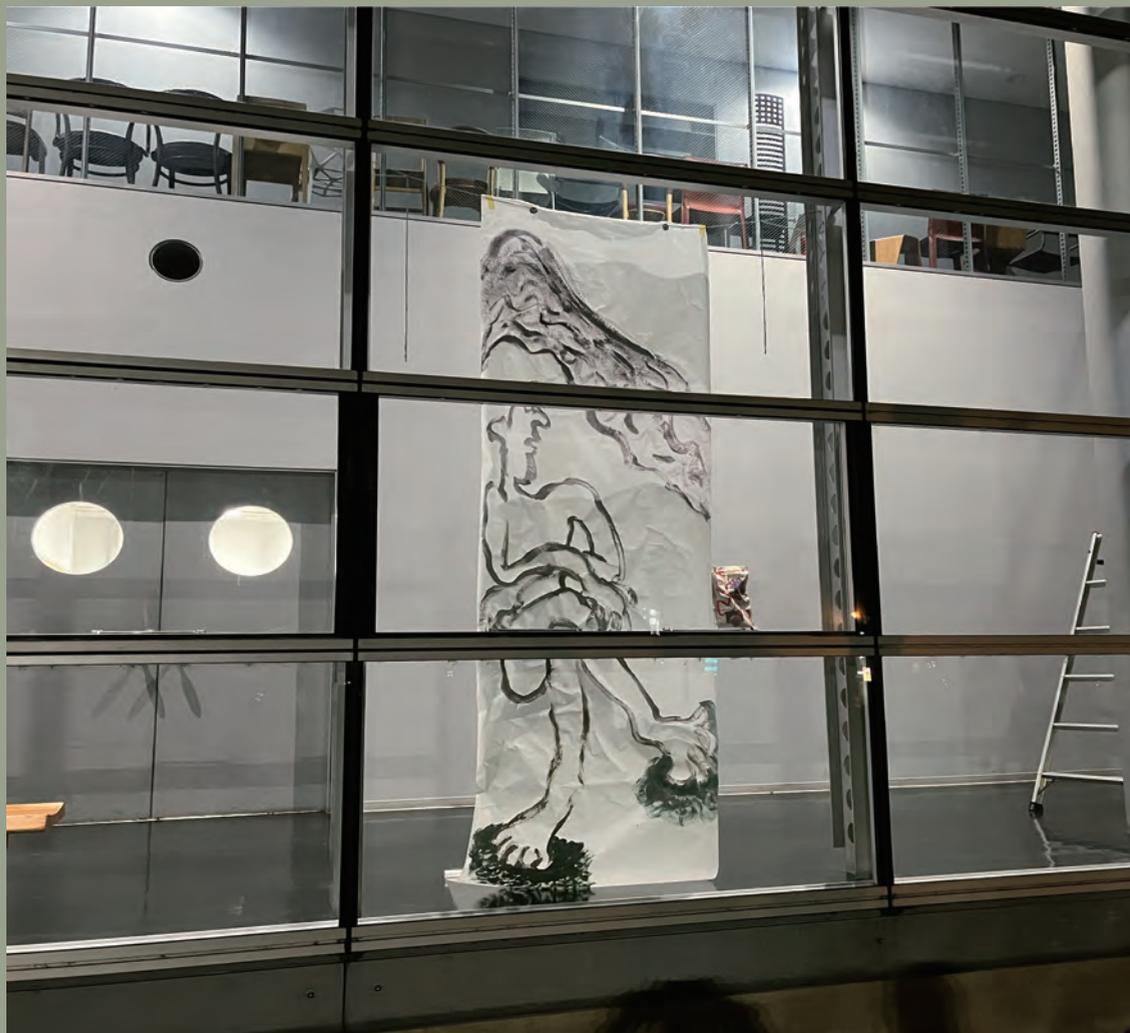
104・105 演習室の外の壁とその向かいのガラス窓で展示する。
104・105 側には新聞紙ドローイングと具象的なドローイングを、
ガラス側には 6 メートルの大きな絵を 12 枚展示する。



それぞれの6メートルの大きなドローイングの向かいの壁には、元になった3枚の新聞紙のドローイングを展示する。



そして、壁の絵とガラスの絵をストリングライトで視覚的に繋ぐ。
それぞれのドローイングが関わり、行ったり来たりしている様子を表現する。



↑高さ約4メートルの紙で試しに展示したもの



この試し展示のように、ガラス越しに透け、外からも鑑賞可能な展示方式にする。この展示では、「近くで見ることと離れて見ることと必要である。そして、その視点を自分で自由に選べるということがもっとも大事である。」というメッセージを込めている。視点の選択肢を持ち、新しい発見や気づきを得ることができる体験を目指す。

ご清覧ありがとうございました。

